

科目名	こども音楽療育実習		科目ナンバー	CC-MP1253-P			
担当者 (実務経験名)	教授 井上 幸一						
履修期	2年 前期			卒業単位			
免許・資格	こども音楽療育士必修						
授業概要	社会福祉施設及び児童デイサービス、児童発達支援センター等における音楽療育活動、ボランティア活動等を通して、観察実習、参加実習、体験学習を行い、音や音楽を使った音楽療育の具体的実践方法を学ぶ。						
到達目標	知識・理解	音楽療育の実践活動において必要な知識を理解できる。					
	思考・判断	実習を通して、対象児に対する理解を深め、客観的に振り返ることができる。					
	興味・意欲・態度	実習を通した諸活動において意欲的に取り組むことができる。					
	技能・表現	対象児に適した音楽療育の実践活動ができる。					
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	オリエンテーション 実習内容及び実習に向けた取り組みについて		実習についてe-ラーニングサイト授業コースの資料を確認する		4	
	2	アセスメント、プログラム作成		実習施設について調べる		4	
	3	児童発達支援施設を想定した模擬セッション1/観察実習1		模擬セッションの準備と練習を行う		4	
	4	児童発達支援施設を想定した模擬セッション2/観察実習2		模擬セッションの準備と練習を行う		4	
	5	児童発達支援施設を想定した模擬セッション3/観察実習3		模擬セッションの準備と練習を行う		4	
	6	児童発達支援施設を想定した模擬セッション4/観察実習4		模擬セッションの準備と練習を行う		4	
	7	児童発達支援施設を想定した模擬セッション5/観察実習5		模擬セッションの準備と練習を行う		4	
	8	児童発達支援施設等における実習1		実習に向けた準備と練習を行う		4	
	9	児童発達支援施設等における実習2		実習に向けた準備と練習を行う		4	
	10	児童発達支援施設等における実習3		実習記録を作成する		4	
	11	児童発達支援施設等における実習4		実習記録を作成する		4	
	12	児童発達支援施設等における実習5		実習記録を作成する		4	
	13	実習の振り返りとまとめ1		実習を振り返り課題点等を考える		4	
	14	実習の振り返りとまとめ2		実習の振り返りからプログラム改善案を考える		4	
15	実習報告		実習報告の準備を行う		4		
成績評価方法			知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験						
	レポート	○		○			40
	課題			○	○		40
	実技					○	20
	受講状況・態度						
	その他()						
フィードバックの方法	実習報告による振り返りとアドバイスをを行う。						
教科書	無し						
参考書	適宜、資料を配付する。						
アクティブ・ラーニング	実習報告において、実習内容と振り返りによる気づき等をまとめ、ディスカッションを行う。						
ICT活用	e-ラーニングサイト授業コースを活用する。						
メッセージ・備考	対象児に対する理解を深めるとともに関係者とのコミュニケーションを図り、適切な実践活動が展開できるように取組みましょう。状況によって学内実習等に変更になる場合があります。						
関連科目	こども音楽療育概論 こども音楽療育演習						